

クアラルンプールにおける都市交通事情について

福山C 中田 勝 康

要 約

クアラルンプールは、マレーシア国の首都で人口約100万人、後背圏はクランバレー（クアラ川流域）と呼ばれ、首都圏としては全体で約200万の人口である。丁度福岡市とその周辺地域に類似した都市構成である。

今回J. I. C. AのKlang Vally Transortation Studyに参加し、現地事情を見る機会を得たので、概況報告を行うこととする。

1. 都市交通概況

マラッカ海峡に注ぐクラン川河口から上流に上ること約70km、平坦な盆地部に存在すクアラルンプール市は、近代的高層ビルがいくつも立ち並び、これらのビル街を取り巻くかのように中環状道路が整理され、殆ど主要交差部の立体化によってスムーズで高速な自動車交通を処理している。郊外部を走行している限り自動車と都市との調和の見事さには、国内で日々の渋滞に悩まされることの多い私には驚くばかりである。

しかしながら、急増する自動車交通需要にいつまでも都市交通施設が耐えることができないのも先例諸都市が経験したとおりであり、中環状道路の内部（都心部）ではもちろんのこと、中環状道路の外側においても都市流入口において混雑は発生しつつあり、現地の人々からも交通混雑に対する不満の声が多く聞かれつつある。

一方 公共交通施設は、鉄道、タクシー、一般バス、ミニバス、さらに工場従業員専用のファクトリーバス、小・中学生のスクールバスと多彩であり、それぞれが精一杯の輸送にあたっているものの（ミニバスにはぶら下がり乗車している乗客を見ることも多い）、全体としては乗用車、オートバイの個別輸送手段が約75%であるのに比べ、約25%程度の交通需要を分担しているにすぎない。（ちなみに同都市規模の福岡市では、公共交通の輸送分担率は通勤・通学交通で約50%である。）もちろん このような個別輸送手段への偏りの一因には、日本では見られないようなオートバイの普及の高さも掲げられる。このような都市交通事情に対応して都市交通管制システムの増強、トラツクの都市部進入禁止、バス停整備、ロータリー交差部の立体化さらには外環状道路の整備や都市通過交通の都市内進入を防ぐ高速道路の建設、またL. R. TあるいはAero Busといった専用線を有す中量輸送システムの導入等が推進され、都市交通問題の解決に著実な一歩を進めつつある。

2. 都市交通問題の構造

都市交通問題の原因は多くの複雑な事象や要因が絡まっており、決して単純構造ではないのだが、これらの事象や要因の相互関係を考慮しながらクアラルンプールにおける都市交通問題を図象化して見ると図-1のように表すことができるだろう。

すなわち 基本的には“車でないと用が済まされない都市交通網”で代表される「自動車社会への偏り」という問題であり、もう一つにはこれと表裏の関係にある「利用しにくい公共交通網」という二つの問題ステージである。

自動車の急増に応じて都市交通施設整備を進めてきたこの都市は、経済活動への貢献という便益を発生させながらも 現象として多くの交通的あるいは社会的不便性を現出させている。

また 自動車走行性確保は、一方通行・右折禁止・交差部の立体化等によって果されつつあるが、その反面バスルートを複雑にし利用しにくいバス網となっていることも否めない。そしてこのような公共交通の利用のしにくさはさらに自動車社会を増進する原因となっている。実際のところ 熱帯性の暑さの自然環境の中で、昼食をとるのさえ自動車に頼る（歩かない、時間がある）ような生活は、国内では考えられない。

もちろん、このような問題ステージは、図-1も示しているように「暑い」といった自然的社会的条件、「大家族性」といった社会現象、「交通教育の不足」や「保守レベルの低さ」といった関連施策の貧困さのさような、交通を取り巻く自然的社会的環境が関連し、いわば両問題ステージは、ニワトリと卵の関係としての悪循環を現出しつつある。

3. 交通問題の解決の方向

問題関連図のひとつの問題を解決していくことが、基本的な解決の方向性であるが、関連図に表れている悪循環はできるだけ早い機会に断ち切ることが必要である。

この場合大きくは「自動車社会への傾り」と「利用しにくい公共交通網」に発生している悪循環の断ち切りであろう。この意味は健全な自動車社会を育成しつつ、かつ利用しやすく公共交通網を整備していくことであり具体的には図-1に示す全体関連図の中の2つの問題ステージをつないでいるパイプをきることである。たとへば「少ない木陰」が「歩行意欲を減退」させているが、歩きやすくそして暑さを防ぎ、瞬時のスコールもある程度避けられる専用歩道をバス網や公共交通の補完施設として形成していくことも必要であろう。

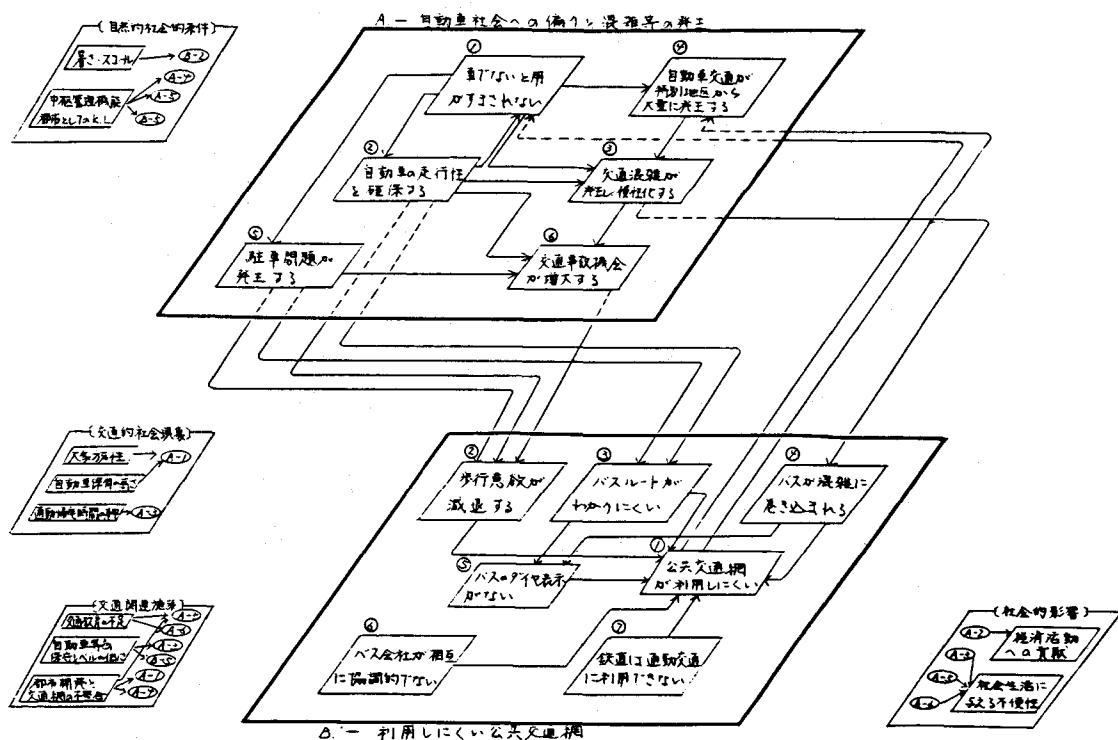


図-1. クアラルンプールにおける都市交通問題関連図 (全体図)